

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成28年1月現在、104団体が加入しています。

今回は平成27年9月26日～27日に開催された「川に学ぶ体験活動全国大会」等を中心にご紹介します。

【第15回川に学ぶ体験活動全国大会 in 尻別川】

今回の全国大会は、日本では有数の国際リゾート観光先進地である北海道ニセコ町を会場にて、「新たなる河川文化の創造」をテーマとして開催し、地元の方や全国各地から約300名の方々が参加しました。

1日目の基調講演では、観光カリスマ百選にも認定されたロス・フィンドレーさんに、ニセコの魅力をアウトドアアクティビティとして



商品化し、地域の一大産業へと発展していった、その原点となる「先ず遊ぶ」とうことからお話し頂きました。また、全国活動事例紹介では、地元小学生による防災活動の発表や北海道で脈々と継続して取り組まれてきた各団体の取組みの他、日本各地での活発な活動を共有し、分科会では、3つのテーマ（川遊び、防災、指導者育成）に分かれ、地域での地道な取組みの継続の大切さを再認識する機会となりました。

2日目には、全国大会の大きな楽しみの一つとなっているエクスカッション（①ラフティング、②カヌー、③鮭遡上見学）毎に、地元の川を愛する方にガイド頂き、大自然の雄大さを大いに満喫させて頂きました。

【平成28年度の「川に学ぶ」全国大会（予告）】

来年の全国大会は、15年前に川に学ぶ社会の起爆的な大規模大会を開催した「近畿」へパトンタッ

チし、琵琶湖・淀川流域圏で活動するメンバーを中心にRAC構成団体も含めて着々と準備が進められています。

開催予定日は9月3日（土）～4日（日）。ぜひ次の大会を、みなさんの団体の研修等に位置づけて頂き、この機会に是非とも「琵琶湖・淀川流域圏」へお越しください。

【「RAC川育ライフジャケット」の認定状況】

これまで我が国には「川遊び用のライフジャケット」として推奨できる安全基準や「試験・認定制度」が未だ存在していませんでしたが、RACでは「川という自然環境下での体験活動に適したライフジャケット」（川育ライフジャケット）の安全基準及び認定基準等に関するガイドラインを昨年度関係各機関の協力のもと構築しました。そして、平成28年1月現在、5種類の製品が認定を受け、水辺シーズンを中心に全国各地の大型スポーツ用品店や、ホームセンター等で提供が始まっています。今後の公的な備品購入等の目安としてご利用ください。

【第13回RACフォーラムのご案内3 / 5～6】

今回のフォーラムでは、河川環境課より時間企画専門官にお越し頂き「川の点検と構造物」についての基礎について紹介頂きます。また、また、分科会では体験活動に役立つ「旧暦」の活用や「デジタル一眼の使い方」「ロープワーク」等のほか、「RAC学校連携コーディネーター養成講座」等の付加講座の受講も可能です。参加申込方法等につきましては下記RACのホームページにてご参照下さい。



《NPO法人川に学ぶ体験活動協議会》

東京都北区田端1-11-1 勘五郎ビル104
TEL.03 - 5832 - 9841 FAX.03 - 6893-2642
<http://www.rac.gr.jp>